



笛吹市春日居郷土館

小川正子記念館

〒406-0013 山梨県笛吹市春日居町寺本 170-1

TEL 0553-26-5100 FAX 0553-26-3957



春日居郷土館

我が町の八月十五日展

夏休みは、戦争について、考えてみませんか。

■入館料金

一般・大学生 200円 (20人以上の団体は160円)
小・中・高校生 100円 (20人以上の団体は80円)

■休館日

毎週火曜日・祝日の翌日
年末年始 (12月27日～1月5日)・展示替え期間
※火曜日が祝日の場合は開館。

春日居郷土館周辺図



小川正子について

小川正子は明治35年(1902)3月26日に山梨県東山梨郡春日居村桑戸(現笛吹市春日居町)で生まれました。大正13年(1924)に東京女子医学専門学校へ入学、昭和4年(1929)に全生病院を見学し、ハンセン病患者救済活動をする決心をしました。

正子は昭和7年(1932)に岡山県・長島愛生園に光田健輔園長を訪ね、医者として迎えられました。昭和9年(1934)より高知県等でハンセン病患者救済の仕事をしていましたが、過労から肺結核になり、1年間長島愛生園で療養生活を送ります。療養中にまとめた手記が『小島の春』です。この本がベストセラーになり、後に映画化され、小川正子の名前は広く知られるようになりました。

昭和13年(1938)正子は故郷桑戸に帰ります。実家の一角で療養生活を送っていましたが、昭和18年(1943)4月29日に41歳で亡くなりました。



小川正子

現在、正子の生家周辺5箇所に小川正子の歌碑を設置しています。

小川正子の歌碑

- ① 夫と妻が親とその子が生き別る 悲しき病世になからしめ
- ② 長島に行くそれもまたよしふるさとの 土にもだせばそれのしも
- ③ ひたすらに待ちにし春は水車場の あんずの花と咲きいでにけり
- ④ トラックのふちにつかまり すすり上げすすり上げ泣く四十の男
- ⑤ 幼さなだちはよき母となり妻となり われ独り来しふるさとの山